

144	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費	目の決算額	116,377,831	144																
	事務事業名称	土地取引事務事業																					
	事業コスト(千円)	2,134	【うち人件費 1,748      うち減価償却費 358      】																				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																						
	国土法に基づく土地利用をする届出者 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 申請書類が迅速に処理されています。																						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位																	
	国土利用計画法受付件数		52	／	5	件																	
	遊休土地調査依頼件数		0	／	6	件																	
	公拡法の受付件数		6	／	5	件																	
実施内容	1 国土利用計画法に基づく届出を受け付け、関係各課の意見をまとめ県へ報告しました。 ※愛知県から権限移譲を受け平成29年4月から市の業務になりました。																						
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街化区域（2,000㎡以上の土地取引件数）</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域（5,000㎡以上の土地取引件数）</td> <td>18</td> <td>10</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>44</td> <td>36</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記に示す面積規模の利用を図る土地において、各筆を所有する地権者が契約書毎に提出する届出件数</p>							実施項目	R1	R2	R3	市街化区域（2,000㎡以上の土地取引件数）	26	26	35	市街化調整区域（5,000㎡以上の土地取引件数）	18	10	17	合計	44	36	52
	実施項目	R1	R2	R3																			
市街化区域（2,000㎡以上の土地取引件数）	26	26	35																				
市街化調整区域（5,000㎡以上の土地取引件数）	18	10	17																				
合計	44	36	52																				
2 国土利用計画法に基づく遊休土地の利用調査について、県からの依頼はありませんでした。 報告件数 なし																							
3 公拡法（公有地の拡大の推進に関する法律）の規定に基づく届出等を受け付け、関係各課の意見等をまとめました。																							
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公有地の拡大の促進に関する法律第4条の届出件数</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>公有地の拡大の促進に関する法律第5条の申出件数</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>							実施項目	R1	R2	R3	公有地の拡大の促進に関する法律第4条の届出件数	2	4	3	公有地の拡大の促進に関する法律第5条の申出件数	5	1	3	合計	7	5	6	
実施項目	R1	R2	R3																				
公有地の拡大の促進に関する法律第4条の届出件数	2	4	3																				
公有地の拡大の促進に関する法律第5条の申出件数	5	1	3																				
合計	7	5	6																				
事業の評価	妥当性評価	国土利用計画法に基づき行う審査及び県への報告は、権限移譲により市が実施すべき事業です。																					
	有効性評価	市の土地動向を把握することができました。																					
	効率性評価	届出書等をPDFファイルにして、各関係課へ同時に照会することで、事務の短縮が図られました。																					
事業費	左の財源内訳																						
	0	国県支出金	地方債	その他	一般財源																		
		0	0	0	0																		

145	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費	目の決算額	116,377,831	145		
	事務事業名称	財産取得事業							
	事業コスト(千円)	15,193	【うち人件費 13,288      うち減価償却費 533      】						
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）								
	道路及び水路								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 機能が拡充されています。								
評価指標	指標名			令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位		
	寄附採納			21	/	10	件		
	用地買収			8	/	15	件		
					/				
実施内容	<p>1 狭あい道路等の解消 道幅の狭い生活道路の拡幅及び隅切り用地を確保することで、緊急車両等の通行が円滑にできるよう、良好な住環境の改善に努めました。 ※狭あい道路整備制度を新設（H27年度より）</p> <p>2 道路用地の取得 市道等の拡幅整備に伴い、道路用地を地権者からの寄附又は買収により取得しました。取得後は市に所有権を移し、適正な管理を行いました。</p> <p>3 道路内民地の解消 道路内に存在する個人名義の土地を、寄附又は買収により取得しました。取得後は市に所有権を移し、適正な管理を行いました。</p>								
	寄附採納								
	年度	件数	筆数	面積（㎡）	うち狭あい道路用地				
					件数	筆数	面積（㎡）		
	R1	11	18	402.92	3	6	121.37		
	R2	18	47	1,567.28	6	12	193.78		
	R3	21	27	302.33	7	8	94.38		
	用地買収								
	年度	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	うち狭あい道路用地			
						件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）
R1	8	11	69.32	3,784,998	6	8	65.93	3,660,746	
R2	8	9	142.43	7,793,465	7	7	121.14	7,660,101	
R3	8	15	362.48	6,797,638	5	6	83.28	4,061,692	
事業の評価	妥当性評価	道路法により市が管理することが定められているため、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	土地所有者の理解協力により、道路内民地の解消を促進することが出来ました。							
	効率性評価	狭あい道路の申出及び寄附採納願の受理後、迅速に処理を行い、交付金を最大限に活用し効率的な道路用地の取得が出来ました。							
事業費	左の財源内訳								
	15,348,017	国県支支出金		地方債		その他		一般財源	
		4,024,135		0		2,040,000 (基金2,040,000)		9,283,882	

146	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費	目の決算額	116,377,831	146																												
	事務事業名称	財産管理事業																																	
	事業コスト(千円)	806,383	【うち人件費 33,634      うち減価償却費 743,187      】																																
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																																		
	道路及び水路																																		
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 良好な状態が保たれています。																																		
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位																													
	道路占用・使用許可、承認工事		1,030	／	970	件																													
	道水路境界立会		259	／	300	件																													
	廃道・水路の払下げ及び付替え		16	／	10	件																													
実施内容	<p>1 道路占用連絡協議会 道路占用連絡協議会を会議形式と書面形式にて2回開催し、工事期間等の調整を行うことで道路工事の効率化を図りました。</p> <p>2 道路占用・使用許可（道路法や条例に基づき適正に新規許可、更新事務を行いました。）</p> <p>3 承認工事（工事の設計、計画について審査承認を行いました。）</p> <p>4 道路台帳の加除、更新（道路台帳の加除、更新を行いました。）</p> <p>5 道水路境界立会い（現地立会いを行い円滑に境界確定事務を進めました。）</p> <p>6 廃道・水路の払下げ及び付替え（廃道・水路の払下げ及び付替え事務を行いました。）</p> <p>7 車両制限令審査（制限値を超える車両通行の可否を審査しました。）</p> <p>8 街区基準点の管理（測量に使用する街区基準点を適正に維持管理しました。）</p>																																		
	各項目の実績																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 道路占用・使用許可件数</td> <td>1,019</td> <td>894</td> <td>947</td> </tr> <tr> <td>3 承認工事許可件数</td> <td>84</td> <td>77</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>1,103</td> <td>971</td> <td>1,030</td> </tr> <tr> <td>4 道路台帳の加除、更新件数</td> <td>63</td> <td>239</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>5 道水路境界立会い件数</td> <td>279</td> <td>215</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>7 車両制限令審査件数</td> <td>132</td> <td>121</td> <td>141</td> </tr> </tbody> </table>							実施項目	R1	R2	R3	2 道路占用・使用許可件数	1,019	894	947	3 承認工事許可件数	84	77	83	小計	1,103	971	1,030	4 道路台帳の加除、更新件数	63	239	72	5 道水路境界立会い件数	279	215	259	7 車両制限令審査件数	132	121	141
	実施項目	R1	R2	R3																															
	2 道路占用・使用許可件数	1,019	894	947																															
	3 承認工事許可件数	84	77	83																															
	小計	1,103	971	1,030																															
	4 道路台帳の加除、更新件数	63	239	72																															
	5 道水路境界立会い件数	279	215	259																															
	7 車両制限令審査件数	132	121	141																															
廃道・水路払下げ件数																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>筆数</th> <th>面積（㎡）</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>899.85</td> <td>29,651,324</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>143.77</td> <td>2,113,688</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>1223.68</td> <td>26,368,760</td> </tr> </tbody> </table>							年度	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	R1	10	17	899.85	29,651,324	R2	4	9	143.77	2,113,688	R3	16	26	1223.68	26,368,760									
年度	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）																															
R1	10	17	899.85	29,651,324																															
R2	4	9	143.77	2,113,688																															
R3	16	26	1223.68	26,368,760																															
事業の評価	妥当性評価	道路法により市が管理することが定められているため、市で実施すべき事業です。																																	
	有効性評価	官民境界審査を行い、使用及び管理に必要な道水路用地の確保ができました。																																	
	効率性評価	道路占用連絡協議会を開催し、重複工事の解消及び適切な迂回路の調整を図りました。																																	
事業費	左の財源内訳																																		
	15,726,493	国県支出金	地方債	その他	一般財源																														
		0	0	0	15,726,493																														

147	款・項・目	8・2・2	目名称	道路維持費	目の決算額	386,885,739	147
	事務事業名称	道路維持事業					
	事業コスト(千円)	397,821	【うち人件費 32,784      うち減価償却費 131,538      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 道路、側溝、雨水管、排水ポンプ等						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 機能が維持されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	要望等処理件数		2,090	／	2,000	件	
	舗装修繕面積		5,337	／	3,000	㎡	
	側溝改修延長		769	／	1,000	m	
実施内容	1 修繕 道路パトロールや市民通報などにより把握した道路などの破損箇所について迅速に対応し、適正な維持管理を行いました。 対応件数						
			R1	R2	R3		
	作業員対応	道路補修	303	341	541		
		舗装修繕	203	331	264		
		草刈作業	200	195	275		
		浚渫作業	288	235	239		
	小計		994	1,102	1,319		
	業者対応	道路補修	272	235	243		
		舗装修繕	127	153	128		
		草刈作業	23	38	38		
浚渫作業		16	22	36			
小計		438	448	445			
合計		1,432	1,550	1,764			
市民からの要望等件数		1,194	1,299	1,360			
2 委託 道路の草刈、側溝浚渫、地下道の路面清掃、駅エレベーターの清掃などの保守点検を行い、適正な維持管理を行いました。また、橋梁の点検を行いました。 (1) 草刈 及び (2) 側溝浚渫の対応件数							
		R1	R2	R3			
定期的草刈委託(入札)		339	317	305			
暗渠等浚渫委託(単契)		29	20	21			
合計		368	337	326			
事業の評価	妥当性評価	市民が安全に通行できる道路を確保するため、市道の維持管理は市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	迅速な道路の修繕に取り組み、安全かつ快適な道路環境の維持を図るとともに市民の要望に応えることができました。					
	効率性評価	道路支障の早期発見のため、市公式ウェブサイト等を通して情報提供を呼びかけ、迅速な修繕を行いました。					
事業費	左の財源内訳						
	386,885,739	国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
	46,808,000	0	(基金56,600,805)	247,275,134			

147	款・項・目	8・2・2	目名称	道路維持費	147
	事務事業名称	道路維持事業			
	事業コスト(千円)				
<p>(3) 施設維持管理</p> <p>ア 地下道などの清掃 (柗山、清蔵、堀越の各地下道、大府駅、共和駅)</p> <p>イ 地下道ポンプ保守 (柗山、清蔵、堀越の各地下道)</p> <p>ウ 地下道電気保守 (柗山地下道)</p> <p>エ 駅エレベーター保守 (大府駅、共和駅)</p> <p>オ 駅エレベーター警備 (大府駅、共和駅)</p> <p>(4) 橋梁点検</p> <p>ア 橋梁定期点検 (JR新幹線橋梁2橋) (負担金)</p> <p>イ 橋梁定期点検 (知多半島道路5橋) (負担金)</p> <p>ウ 橋梁定期点検 (東海市 愛知用水3橋) (負担金)</p> <p>3 工事</p> <p>舗装修繕工事や側溝改修工事を行い、市民が安全に通行出来るよう適正な維持管理を行いました。</p> <p>(1) 舗装修繕工事</p> <p>ア 市道柗山上清蔵線 (第1工区) (江端町：舗装1,185㎡) (R2年度から繰越し)</p> <p>イ 市道柗山上清蔵線 (第2工区) (江端町：舗装1,153㎡) (R2年度から繰越し)</p> <p>ウ 市道長根北崎線 (神田町：舗装1,920㎡) (R2年度から繰越し)</p> <p>エ 市道山口半月線 (森岡町：R4年度へ繰越し)</p> <hr/> <p style="text-align: right;">合計 舗装4,258㎡</p> <p>(2) 側溝改修工事</p> <p>ア 市道平地南屋敷線 (横根町：側溝 48m)</p> <p>イ 市道6044号線 (神田町：側溝207m)</p> <p>ウ 市道2125号線 (月見町：側溝 95m)</p> <p>エ 市道3409号線ほか1路線 (森岡町：側溝114m)</p> <p>オ 未認定路線 (中央町：側溝 88m)</p> <hr/> <p style="text-align: right;">合計 側溝552m</p> <p>(3) 雨水管老朽化に伴う改修工事</p> <p>市道4210号線ほか (桃山町：舗装1,079㎡、側溝179m、雨水管109m)</p> <p>(4) 狭あい道路整備工事</p> <p>市道6009号線 (横根町：側溝 38m)</p>					

148	款・項・目	8・2・3	目名称	道路新設改良費	目の決算額	411,302,519	148
	事務事業名称	補助幹線道路改良事業					
	事業コスト(千円)	60,321	【うち人件費 16,378      うち減価償却費 34,115      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	幹線道路との接続道路及び地域の交通量の多い道路（補助幹線道路）						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 既存道路の拡幅、歩道設置、道路の整備が進み、安全で良好な道路のネットワークが構築されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	補助幹線道路の改良済延長の割合		18.1	／	23.0	%	
	歩道整備延長		300	／	313	m	
				／			
実施内容	1 市道上原殿田線 物件補償及び道路改良工事が完了しました。 物件補償 1件（R2年度から繰越し）、工事 延長L=300m（R2年度から繰越し含む）						
	2 市道共和駅東線（共和変電所～県道泉田共和線） 物件調査、用地買収及び物件補償を実施しました。 用地買収 10筆 328.94㎡、物件補償 6件（R2年度から繰越し含む）						
	3 市道4073号線（大和機工東） 用地買収、物件補償及び道路改良工事が完了しました。 用地買収 3筆 30.78㎡、物件補償 2件、工事 延長L=75m						
	4 市道大府本町線 用地交渉を実施しました。						
	5 市道6010号線（横根平子土地区画整理関連） 土地評価及び用地交渉を実施しました。						
	6 市道6006号線（横根平子土地区画整理関連） 用地測量、路線測量及び詳細設計を実施しました。						
	7 市道7061号線（砂川沿い） 道路改良工事（延長L=100m）を実施しました。（R4年度へ繰越し）						
	8 長草1号橋（知多半島道路上） 橋梁耐震補強及び補修の詳細設計を実施しました。						
	9 名高跨線橋（JR東海道新幹線上） JR東海への工事負担金による橋梁補修工事を実施しました。						
	10 大府駅自由通路（JR東海道本線上） 耐震補強工事及びJR東海への工事負担金による足場撤去工事が完了しました。（R2年度から繰越し）						
事業の評価	妥当性評価	市民が安心・安全に道路を利用することができる道路ネットワークの整備は、市民生活の基盤となるため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	補助幹線道路の整備により、道路網が構築され、スムーズな移動が可能となりました。また、歩道整備により、歩行者の安心・安全を確保することができました。					
	効率性評価	国の交付金及び県の補助金を有効的に活用することや、県事業と連携して整備を進めることにより、効率的な整備促進を図ることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	411,302,519	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		94,282,865	0	155,688,238	161,331,416		

149	款・項・目	8・3・2	目名称	河川維持費	目の決算額	114,239,006	149	
	事務事業名称	河川維持事業						
	事業コスト(千円)	42,516	【うち人件費 5,500      うち減価償却費 3,299      】					
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)							
	河川施設等							
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 草刈・浚渫等の管理が行き届き、排水機能及び環境美化が維持されています。							
評価指標	指標名				令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位
	河川の草刈面積(単年度)				80,629	／	89,000	m <sup>2</sup>
						／		
						／		
実施内容	河川の草刈りや施設等の修繕を実施することにより、良好な維持管理及び環境美化を図りました。							
	1 河川の草刈り(1工区、2工区ほか)							
			草刈委託(定期)		単価契約(緊急)		合計面積	
	年度	件数	面積	件数	面積			
	R1	14か所	81,360m <sup>2</sup>	1か所	560m <sup>2</sup>	81,920m <sup>2</sup>		
	R2	15か所	79,680m <sup>2</sup>	1か所	418m <sup>2</sup>	80,098m <sup>2</sup>		
	R3	15か所	79,680m <sup>2</sup>	2か所	949m <sup>2</sup>	80,629m <sup>2</sup>		
	2 河川施設等の修繕等							
	(1) 修繕・浚渫等の件数							
	年度	修繕		浚渫、伐採等(単価契約)				
R1	24件		9件					
R2	8件		13件					
R3	6件		6件					
河川維持管理委託、工事								
河川伐採委託		長草川他	伐採工 69本					
河川浚渫委託		延命寺川	浚渫工 30m <sup>2</sup>					
河川景観改良工事		石根川	舗装工 107m <sup>2</sup> 他					
(2) 苦情要望等の件数								
年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他				
R1	90件	6件	45件	39件				
R2	68件	9件	37件	22件				
R3	33件	1件	22件	10件				
3 河川水位監視システムの維持管理								
(1) 河川水位監視システム点検 水位計(8台): 年1回								
(2) 河川水位監視システムのカメラ交換工事を実施しました。(3台) 市公式ウェブサイトで河川の画像を見られるようにしました。								
事業の評価	妥当性評価	治水機能の維持と環境の保持を図るため、河川施設等を適正に管理することが必要であり、市が主体で実施すべき事業です。						
	有効性評価	苦情要望が多い中、治水機能の維持と環境保持を図るため、必要性や緊急性を判断して、適切な作業を実施することができました。						
	効率性評価	積極的な現地確認により、適切な工法を選定して作業を実施できました。また、職員による定期的な点検や維持管理作業を行い、コスト削減を図ることができました。						
事業費	左の財源内訳							
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
	47,704,490		0	0	0	47,704,490		

150	款・項・目	8・3・2	目名称	河川維持費	目の決算額	114,239,006	150																				
	事務事業名称	水路等維持事業																									
	事業コスト(千円)	70,851	【うち人件費 10,531      うち減価償却費 953      】																								
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)																										
	水路施設等																										
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 草刈・浚渫等の管理が行き届き、排水機能及び環境美化が維持されています。																										
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位																					
	水路等の草刈面積(単年度)		10,850	／	11,000	m <sup>2</sup>																					
	水路等の防草対策面積(単年度)		306	／	500	m <sup>2</sup>																					
				／																							
実施内容	1 水路等の草刈り 水路等の草刈りや水路、調整池等及び排水機場の適切な管理を実施することで、良好な維持管理及び環境美化を図りました。 1工区(東) 1回目5,150m <sup>2</sup> 2工区(西) 1回目2,970m <sup>2</sup> 2回目1,200m <sup>2</sup> 2回目1,530m <sup>2</sup> 合計10,850m <sup>2</sup>																										
	2 水路、調整池等の管理																										
	(1) 修繕・浚渫等の件数 R3:修繕17件、浚渫・草刈・伐採等(単価契約)22件																										
	(2) 苦情要望等の件数																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合計</th> <th>浚渫</th> <th>草刈伐採</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>201件</td> <td>38件</td> <td>83件</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>257件</td> <td>38件</td> <td>99件</td> <td>120件</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>229件</td> <td>38件</td> <td>122件</td> <td>69件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他	R1	201件	38件	83件	80件	R2	257件	38件	99件	120件	R3	229件	38件	122件	69件
	年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他																						
	R1	201件	38件	83件	80件																						
	R2	257件	38件	99件	120件																						
	R3	229件	38件	122件	69件																						
	(3) 水路等維持管理委託、工事																										
ア 水路伐採委託 北崎新川水路、桃山水路、桃山町三丁目水路 伐採 18本、草刈面積 80m <sup>2</sup>																											
イ 水路浚渫委託 森岡町六丁目水路、一丁田水路、共長小学校水路、八ツ屋水路、二ツ池水路 市道荒池長草線地下貯留槽 浚渫 42.2m <sup>2</sup>																											
ウ 水路改良工事 東新水路、中屋敷水路 張りコンクリート工 160.5m <sup>2</sup> 源吾水路 防草シート設置工 45.4m <sup>2</sup> 砂川 アスファルト舗装工 100.3m <sup>2</sup> 合計 306.2m <sup>2</sup>																											
3 排水機場の工事 安全設備設置工事 五ヶ村川第2排水機場 転落防止用背バンド1基 手すり1基 五ヶ村川第3排水機場 転落防止用背バンド1基																											
事業の評価	妥当性評価	治水機能の維持と環境保全を図るため、水路、調整池、治水ため池及び排水機場を適正に管理することが必要であり、市が主体で実施すべき事業です。																									
	有効性評価	苦情要望が多い中、治水機能の維持と環境保全を図るため、必要性や緊急性を判断して、適切な作業を実施することができました。																									
	効率性評価	積極的な現地確認により、適切な工法を選定して作業を実施できました。また、職員による定期的な点検や維持管理作業を行い、コスト削減を図ることができました。																									
事業費	左の財源内訳																										
	66,534,516	国県支支出金	地方債	その他	一般財源																						
		9,187,000	0	1,700,954	55,646,562																						

151	款・項・目	8・3・3	目名称	河川改修費	目の決算額	3,707,015	151																				
	事務事業名称	総合排水計画事業																									
	事業コスト(千円)	3,496	【うち人件費 3,353      うち減価償却費 118      】																								
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)																										
	雨水貯留施設																										
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 雨水が貯留され、河川への流出が抑制されています。																										
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位																					
	雨水流出抑制対策済量		185,777	/	173,404	m <sup>3</sup>																					
				/																							
				/																							
実施内容	1 大府市総合排水事業促進会議 大府市総合排水計画の円滑な推進を図るため、関係各課と事業調整等を行いました。(1回開催)																										
	2 特定都市河川浸水被害対策法(河川新法)																										
	(1) 特定都市河川浸水被害対策法のもと愛知県及び流域12市町で総合治水を進めました。																										
	(2) 雨水浸透阻害行為許可申請事務(書類受付、開発者の指導、完了検査立会い)																										
	(3) 保全調整池の指定について、愛知県と連携を図りました。																										
	3 雨水貯留施設の整備																										
	(1) 令和3年度 市で実施した雨水貯留浸透対策の実績																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各戸貯留</td> <td>29m<sup>3</sup></td> <td>1m<sup>3</sup></td> <td>雨水貯留浸透施設設置補助</td> </tr> <tr> <td>透水性舗装</td> <td>4m<sup>3</sup></td> <td>6m<sup>3</sup></td> <td>市道上原殿田線、県道横根大府線</td> </tr> <tr> <td>貯留施設</td> <td>313m<sup>3</sup></td> <td>8,500m<sup>3</sup></td> <td>口無大池</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>346m<sup>3</sup></td> <td>8,507m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							種別	目標	実績	備考	各戸貯留	29m <sup>3</sup>	1m <sup>3</sup>	雨水貯留浸透施設設置補助	透水性舗装	4m <sup>3</sup>	6m <sup>3</sup>	市道上原殿田線、県道横根大府線	貯留施設	313m <sup>3</sup>	8,500m <sup>3</sup>	口無大池	合計	346m <sup>3</sup>	8,507m <sup>3</sup>	
	種別	目標	実績	備考																							
	各戸貯留	29m <sup>3</sup>	1m <sup>3</sup>	雨水貯留浸透施設設置補助																							
透水性舗装	4m <sup>3</sup>	6m <sup>3</sup>	市道上原殿田線、県道横根大府線																								
貯留施設	313m <sup>3</sup>	8,500m <sup>3</sup>	口無大池																								
合計	346m <sup>3</sup>	8,507m <sup>3</sup>																									
(2) 民間で実施した雨水貯留浸透対策の実績(河川新法ほか)																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>完了件数</th> <th>対策量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>38件</td> <td>5,834m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>20件</td> <td>2,920m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>21件</td> <td>2,364m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>								完了件数	対策量	R1	38件	5,834m <sup>3</sup>	R2	20件	2,920m <sup>3</sup>	R3	21件	2,364m <sup>3</sup>									
	完了件数	対策量																									
R1	38件	5,834m <sup>3</sup>																									
R2	20件	2,920m <sup>3</sup>																									
R3	21件	2,364m <sup>3</sup>																									
(3) 年度別の雨水流出抑制対策済量																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>市</th> <th>民間</th> <th>累計(市+民間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>128m<sup>3</sup></td> <td>5,720m<sup>3</sup></td> <td>171,983m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>327m<sup>3</sup></td> <td>2,596m<sup>3</sup></td> <td>174,906m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>8,507m<sup>3</sup></td> <td>2,364m<sup>3</sup></td> <td>185,777m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>							年度	市	民間	累計(市+民間)	R1	128m <sup>3</sup>	5,720m <sup>3</sup>	171,983m <sup>3</sup>	R2	327m <sup>3</sup>	2,596m <sup>3</sup>	174,906m <sup>3</sup>	R3	8,507m <sup>3</sup>	2,364m <sup>3</sup>	185,777m <sup>3</sup>					
年度	市	民間	累計(市+民間)																								
R1	128m <sup>3</sup>	5,720m <sup>3</sup>	171,983m <sup>3</sup>																								
R2	327m <sup>3</sup>	2,596m <sup>3</sup>	174,906m <sup>3</sup>																								
R3	8,507m <sup>3</sup>	2,364m <sup>3</sup>	185,777m <sup>3</sup>																								
4 総合治水の市民への周知 広報掲載：5月号 懸垂幕掲示：5月15日～21日																											
事業の評価	妥当性評価	行政、民間事業者、市民が協力して進めている雨水流出抑制対策において、総合排水計画の目標値の達成のためには、市が先導して推進していくべき事業です。																									
	有効性評価	雨水流出抑制対策を継続的に推進しており、着実に総合治水対策を進めることができます。また、民間事業者や市民に対してもこの取組のPRを行っています。																									
	効率性評価	行政だけでなく、民間事業者や市民に協力していただき、効率的に雨水流出抑制対策施設を整備することができます。																									
事業費	左の財源内訳																										
	0	国県支出金	地方債	その他	一般財源																						
		0	0	0	0																						

152	款・項・目	8・3・3	目名称	河川改修費	目の決算額	3,707,015	152
	事務事業名称	水路整備事業					
	事業コスト(千円)	5,248	【うち人件費 4,192      うち減価償却費 1,007      】				
事業の目的	<p>対象（何を、誰を対象として） 未改修及び断面不足の水路</p> <p>目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 順次、計画的に整備し、断面不足等の解消が行われています。</p>						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	当該年度水路整備延長		0	／	20	m	
				／			
				／			
実施内容	<p>1 委託 用地測量業務委託 名高山水路 民地内水路解消のため用地測量委託を実施しました。 境界測量 3,900㎡</p> <p>2 工事 雨水排水設備設置工事 大府横根平子土地区画整理関連 大府横根平子土地区画整理事業の進捗に合わせ次年度施工となりました。</p> <p>3 工事負担金 湛水防除事業 横根川排水機場（県営事業） 横根川排水機場の建替えの設計費用の一部を負担しました。 負担金額 9,999,300円×1%=99,993円</p>						
事業の評価	妥当性評価	水路整備については、市民の生命と財産を守る上で、市が主体となり実施すべき事業です。					
	有効性評価	水路等整備を実施することで、関連機関が実施する事業が推進され、治水安全度の向上を図ることができました。					
	効率性評価	水路整備を関連機関と連携して実施することで事業の効率化を図りました。					
事業費	左の財源内訳						
	3,253,965	国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	3,253,965		

153	款・項・目	8・4・1	目名称	都市計画総務費	目の決算額	110,378,038	153
	事務事業名称	都市計画推進事業					
	事業コスト(千円)	28,204	【うち人件費 13,611      うち減価償却費 514      】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 都市計画マスタープランに基づいたまちづくりを行うことにより、いつまでも住み続けたいと実感しています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	都市計画の決定及び変更件数累計		11	／	7	件	
	市街化区域の累計面積		1353.0	／	1353.4	ha	
実施内容	1 都市計画審議会を開催し、用途地域、生産緑地地区、地区計画等の都市計画の決定及び変更に関する事項について調査審議しました。 また、それに伴い、都市計画閲覧システム(GIS)のデータ変更を行いました。 (1) 都市計画の決定及び変更件数累計(令和2年度から) 11件(令和2年度:6件 令和3年度:5件) (2) 生産緑地地区面積 令和元年度:17.9ha 令和2年度:17.7ha 令和3年度:16.2ha (3) 地区計画の都市計画決定面積 令和元年度:166.6ha 令和2年度:207.9ha 令和3年度:212.7ha						
	2 居住機能や福祉、医療、商業等の都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープランである、大府市立地適正化計画の策定を進めました。また、策定に当たり、大府市立地適正化計画策定委員会(2回)を開催しました。(令和4年度策定予定)						
	3 都市計画法第6条の規定に基づき、都市計画基礎調査を行いました。						
	4 一ツ屋地区において、用途地域の変更及び住居系地区計画の決定の都市計画手続きを行いました。						
	5 大府市空家等対策計画に基づき、空家等の対策に取り組みました。 (1) 大府市空家等対策協議会(2回)を開催し、空家等の対策について協議しました。 (2) 空家対策個別相談会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、開催しませんでした。 (3) 管理不全な空家等に起因して周辺に危険な状態が切迫している物件はありませんでした。 (4) 空家等対策特別措置法の規定に基づき、特定空家等(3件)の認定を行いました。						
	6 無線遠隔操作草刈機を購入し、各所管課で公共施設の草刈り(23件)に活用しました。						
	事業の評価	妥当性評価	良好な土地利用を推進していく上で、区域区分や都市施設などの都市計画決定及び変更手続きは、市が実施すべき事業です。				
有効性評価		将来の土地利用計画に基づき適正な土地利用が図られることは、都市計画マスタープランのまちづくり目標を達成する上で有効です。					
効率性評価		土地所有者の協力や地域住民との合意形成を図ることで、土地利用の推進を効率的に行うことができました。					
事業費	左の財源内訳						
	19,035,162	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		2,600,000	0	0	16,435,162		

154	款・項・目	8・4・1	目名称	都市計画総務費	目の決算額	110,378,038	154
	事務事業名称	都市景観推進事業					
	事業コスト(千円)	8,217	【うち人件費 4,257      うち減価償却費 162      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 潤いのある空間づくりを行い、市民の景観に対する意識が高まっています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	大府50景関連事業件数		2	／	1	件	
				／			
				／			
実施内容	1 景観形成の基本的な方針等を定める大府市景観計画を策定しました。また、策定に当たり、大府市景観計画策定委員会を開催しました。（令和2年度：2回開催 令和3年度：3回開催）						
	2 都市景観の形成に関する事項に対し、助言・指導を行うため、統合新設保育園の建設計画について、都市景観検討委員会（1回）を開催しました。						
	3 投票により選定された「大府50景」についてパネル写真を作製し、市役所ロビーにて、市制50周年Plus1記念事業「みんなで選んだ大府50景パネル展」を開催しました。						
事業の評価	妥当性評価	本市の多様な景観を五感で感じられる、心身ともに健康なまちづくりを進めることは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	大府50景を活用した事業や「大府市景観計画」に掲げる景観形成施策の実施により景観まちづくりを推進することは、本市を魅力的なまちにしていく上で有効です。					
	効率性評価	「大府50景パネル展」の開催に当たり、写真プリント単価の縮減や展示方法の工夫とともに、市公式ウェブサイトや市広報誌などの広報媒体を活用したことにより、効率的、かつ広く本市の魅力あふれる風景をPRすることができました。また、「大府市景観計画」の策定に当たり、市民意識調査だけでなく、イメージマップの作成や大府50景募集結果を活用したことにより、的確に現況課題を取りまとめることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	3,772,790	国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	3,772,790		

主要事業No 100

主要事業No 100

155	款・項・目	8・4・2	目名称	街路事業費	目の決算額	249,700,760	155
	事務事業名称	幹線道路整備事業					
	事業コスト(千円)	46,885	【うち人件費 22,520      うち減価償却費 18,037      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市及び県が管理する市内の幹線道路（都市計画道路）						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 渋滞の解消、目的地への移動時間の短縮、交通事故の防止、歩行者の安全性向上、災害時の緊急輸送路の確保、広域的な車両の流動性の向上などができています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	幹線道路の整備済延長の割合		7.3	／	15.8	%	
	歩道整備延長		110	／	630	m	
	国県への要望回数		20	／	20	回	
実施内容	1 県道横根大府線 用地測量、土地評価、物件調査、用地買収、物件補償及び歩道設置工事を実施しました。 用地買収 22筆 212.49㎡、物件補償 9件（R2年度から繰越し、R4年度へ繰越し含む）、 工事 延長L=110m						
	2 都市計画道路養父森岡線 (1) 1期（東海市境～石ヶ瀬川） 物件調査、用地交渉、地中埋設物除去委託及び道路改良工事を実施しました。 工事 延長L=570m（R2年度から繰越し、R4年度へ繰越し含む） (2) 2期（石ヶ瀬川～県道東浦名古屋線） 土地評価及び物件調査を実施しました。						
	3 みちづくり基金 基金の積立てを行うとともに、幹線道路整備等のために取り崩しました。 積立金 100,403千円、取崩し 107,516千円						
	4 愛知県が施行する都市計画道路等の整備促進 (1) 大府東浦線：国道155号から市道ウド線までの区間で工事を実施しました。 (2) 東海有松線：本郷交差点から東海市境までの区間で工事を実施しました。 (3) 名和大府線：田面交差点の用地買収（2件、233.74㎡）及び物件補償（6件）を実施しました。 (4) 荒尾大府線：東海市境から県道東海緑線までの区間で調査測量及び予備設計を実施しました。 (5) 衣浦西部線：国道155号から国道366号までの区間で用地買収（2件、80.22㎡）を実施しました。 (6) 瀬戸大府東海線：惣作交差点から横根町後田交差点までの区間で工事を実施しました。						
	事業の妥当性評価 幹線道路は、まちづくりにおける都市基盤としての機能を担うため、県と市が協力して実施すべき事業です。						
	事業の有効性評価 幹線道路の整備により道路網が構築され、交通の流れがスムーズになります。また、歩道の整備により、歩行者の安全が確保されます。						
	事業の効率性評価 国の交付金及びみちづくり基金を有効に活用して効率的に事業を進めることができました。						
事業費	左の財源内訳						
	249,700,760	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		32,000,000	0	88,475,654 (基金48,875,195)	129,225,106		

156	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費	目の決算額	266,315,698	156																																										
	事務事業名称	二ツ池セレトナ運営事業																																															
	事業コスト(千円)	30,835	【うち人件費 4,632      うち減価償却費 4,762      】																																														
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)	市民																																															
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか)	二ツ池セレトナを利用して、大府市の自然を見て、触れて、学ぶ機会を持てるようにします。																																															
評価指標	指標名	令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位																																												
	二ツ池セレトナ入場者数	37,725	／	25,000	人																																												
	セレトナ学習室利用件数	89	／	120	件																																												
	講座参加者数	4,331	／	3,500	人																																												
実施内容	<p>1 二ツ池セレトナ及び二ツ池公園グラウンドの効率的な運営及び適正な維持管理  指定管理者の創意工夫とノウハウを活用して、市民が自然と触れ合い学ぶことができる学習の機会を提供するとともに、施設の効率的かつ適切な維持管理・運営を図りました。  (指定管理期間：平成29年度～令和3年度)</p> <p>2 イベントや講座などの開催  多くの市民が自然と触れ合い体験できる場として、イベントや自然観察会などの講座を実施しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二ツ池セレトナ入場者数</td> <td colspan="2">35,909人</td> <td colspan="2">31,050人</td> <td colspan="2">37,725人</td> </tr> <tr> <td>セレトナ学習室利用件数</td> <td>192件</td> <td>5,308人</td> <td>113件</td> <td>1,600人</td> <td>89件</td> <td>1,423人</td> </tr> <tr> <td>デイキャンプ利用数</td> <td>95件</td> <td>4,149人</td> <td>67件</td> <td>1,415人</td> <td>27件</td> <td>573人</td> </tr> <tr> <td>講座参加者数</td> <td>80回</td> <td>3,872人</td> <td>91回</td> <td>1,402人</td> <td>85回</td> <td>4,331人</td> </tr> <tr> <td>グラウンド利用者数</td> <td>342件</td> <td>8,789人</td> <td>316件</td> <td>7,799人</td> <td>328件</td> <td>6,917人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 情報の発信  広報おおぶ、市公式ウェブサイト及びフリーペーパーにより、積極的に情報発信を行いました。</p> <p>4 指定管理者の指定  大府市自然体験学習施設「二ツ池セレトナ」及び二ツ池公園グラウンドの指定管理者として、公募による指定管理者の候補者の選定をしました。  (指定管理期間：令和4年度～令和6年度)</p>								R1		R2		R3		二ツ池セレトナ入場者数	35,909人		31,050人		37,725人		セレトナ学習室利用件数	192件	5,308人	113件	1,600人	89件	1,423人	デイキャンプ利用数	95件	4,149人	67件	1,415人	27件	573人	講座参加者数	80回	3,872人	91回	1,402人	85回	4,331人	グラウンド利用者数	342件	8,789人	316件	7,799人	328件	6,917人
		R1		R2		R3																																											
	二ツ池セレトナ入場者数	35,909人		31,050人		37,725人																																											
	セレトナ学習室利用件数	192件	5,308人	113件	1,600人	89件	1,423人																																										
	デイキャンプ利用数	95件	4,149人	67件	1,415人	27件	573人																																										
	講座参加者数	80回	3,872人	91回	1,402人	85回	4,331人																																										
	グラウンド利用者数	342件	8,789人	316件	7,799人	328件	6,917人																																										
	事業の評価	妥当性評価	水と緑に恵まれた環境の中で、市民に自然体験学習の機会を提供する施設の運営は、市が実施すべき事業です。																																														
		有効性評価	施設の利用制限が生じ開館期間は短縮となりましたが、講座参加者のアンケート結果での満足度は非常に高く、事業の効果は上がっています。																																														
		効率性評価	施設の運営に指定管理者制度を導入したことで、様々な工夫により学習室などの利用者数が大きく増加し、効果的な施設運営を効率的に行うことができています。																																														
事業費	左の財源内訳																																																
	21,314,747	国県支支出金	地方債	その他	一般財源																																												
		0	0	0	21,314,747																																												

157	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費	目の決算額	266,315,698	157
	事務事業名称	公園整備事業					
	事業コスト(千円)	57,506	【うち人件費 5,031      うち減価償却費 51,337      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 憩いの場となる公園を整備することで、安全で快適な時間を過ごしています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	都市公園面積		98.9	／	98.9	ha	
				／			
				／			
実施内容	横根立会池広場公園整備 横根立会池を広場公園化に向けた基盤整備を行いました。（繰越工事）  都市公園面積（合計） R1：97.9ha    R2：98.9ha    R3：98.9ha						
	事業の評価	妥当性評価	快適で便利な暮らしの基盤づくりとして、市民の憩いの場である公園を整備することは、市が実施すべき事業です。				
	事業の評価	有効性評価	公園や親水空間の整備内容について、住民参加のワークショップ形式によって計画づくりをすることにより、周辺住民の意見調整が図られました。				
事業費	71,964	左の財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	71,964		

158	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費	目の決算額	266,315,698	158
	事務事業名称	公園等施設管理事業					
	事業コスト(千円)	317,392	【うち人件費 6,758      うち減価償却費 144,362      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 公園施設を適切に維持管理することで身近に緑が感じられ、安全で快適に過ごすことができる空間として、市民の満足度が向上しています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	公園管理面積		98.9	／	98.9	ha	
				／			
				／			
実施内容	<p>1 公園の快適な環境を保つため、ごみ拾い、トイレ清掃、除草などを実施しました。</p> <p>2 公園遊具の安全性を確保するため、公園遊具の保守点検を実施しました。</p> <p>3 公園などの水景施設が安定して稼働できるよう、施設の保守点検を実施しました。</p> <p>4 公園を良好な状態に保つことができるように、公園の施設や遊具の修繕を実施し、適切な維持管理を行いました。</p> <p>    都市公園面積（合計） R1:96.6ha    R2:97.9ha    R3:98.9ha</p> <p>    (1) 四阿屋根葺材取替（羽根山公園、狐山公園、一ツ屋公園、澄池公園、石ヶ瀬川緑道）</p> <p>    (2) 公園照明灯立替（藤池公園、大峯公園）</p> <p>    (3) 噴水ポンプ取替（大府みどり公園 じゃぶじゃぶ池）</p> <p>5 公園施設長寿命化対策工事（社会資本整備総合交付金） 公園施設長寿命化計画に基づき、大府みどり公園の園路を改修しました。</p> <p>6 公園維持管理工事 大府みどり公園を快適に利用できるよう、中央広場のタイル舗装を補修しました。</p> <p>7 公園などでのトラブルを未然に防止するために大府みどり公園の第1及び第2駐車場に防犯カメラを設置しました。</p>						
事業の評価	妥当性評価	市民の憩いの場である公園について、公園施設等の状況を正確に把握し、日常管理や修繕等を行うことは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	定期的に公園の維持管理を行うとともに、市民の要望等に対して迅速に対応することにより、安全で安心して利用できる市民の憩いの場を提供することができました。					
	効率性評価	職員や委託業者による巡回や遊具点検の他、市民団体などからの報告によって施設の劣化状況を正確に把握することにより、効率的に修繕を実施しました。					
事業費	左の財源内訳						
	199,625,013	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		16,100,000	0	7,355,413	176,169,600		

159	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費	目の決算額	312,333,785	159																				
	事務事業名称	緑化推進事業																									
	事業コスト(千円)	21,509	【うち人件費 6,758      うち減価償却費 2,224      】																								
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)																										
	市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 緑を増やすことにより、潤いと安らぎを感じています。																										
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位																					
	緑地面積		61,182	/	61,182	m <sup>2</sup>																					
	保全地区面積		3.96	/	3.96	ha																					
				/																							
実施内容	1 民有地の緑化推進として愛知県都市緑化基金を活用し、公有地や民有地の緑化を充実させることにより緑あふれるまちづくりを推進しました。																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名称</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信託木配布</td> <td>4種 268本</td> <td>中 止</td> <td>4種 56本</td> </tr> <tr> <td>保全地区</td> <td>13か所 3.96ha</td> <td>13か所 3.96ha</td> <td>13か所 3.96ha</td> </tr> <tr> <td>保存樹木</td> <td>107本</td> <td>107本</td> <td>107本</td> </tr> <tr> <td>花いっぱい運動</td> <td>128か所 4回植替え</td> <td>128か所 4回植替え</td> <td>128か所 4回植替え</td> </tr> </tbody> </table>							事業名称	R1	R2	R3	信託木配布	4種 268本	中 止	4種 56本	保全地区	13か所 3.96ha	13か所 3.96ha	13か所 3.96ha	保存樹木	107本	107本	107本	花いっぱい運動	128か所 4回植替え	128か所 4回植替え	128か所 4回植替え
	事業名称	R1	R2	R3																							
	信託木配布	4種 268本	中 止	4種 56本																							
	保全地区	13か所 3.96ha	13か所 3.96ha	13か所 3.96ha																							
	保存樹木	107本	107本	107本																							
花いっぱい運動	128か所 4回植替え	128か所 4回植替え	128か所 4回植替え																								
2 緑の募金を実施し、緑化に対する市民意識の高揚を図りました。(4月、5月)																											
3 みどりの少年団の活動を通して、市内の小学生に緑化の大切さを理解してもらう機会を提供しました。 (令和3年度 北山小学校、共長小学校)																											
4 愛知県が実施するあいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金を活用し、市内の緑化を推進しました。 (1) 市民参加の植樹祭等により、公共施設に緑化整備を行いました。 ①共和配水場 ②澄池公園 ③北山小学校 ④大府西中学校 (2) 交付金の基準を満たした優良な民有地緑化に支援を行いました。																											
5 緑化推進委員会を開催し(3回)、緑の基本計画の進捗管理や緑の保全と緑化の推進について協議しました。																											
事業の評価	妥当性評価	緑あふれるまちづくりを進めるため、緑化推進や緑の保全を図るとともに、市民が緑に親しむことのできる機会を提供することは、市が市民と協働で実施すべき事業です。																									
	有効性評価	民有地の緑化とともに、市民参加による公有地の緑化を行うことにより、多くの市民に緑とのふれあいの機会を提供し、緑化の推進を図ることができました。																									
	効率性評価	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業及び愛知県都市緑化基金を活用し、効率的に事業を実施することができました。																									
事業費	左の財源内訳																										
	14,999,313	国県支出金	地方債	その他	一般財源																						
		5,120,000	0	300,000	9,579,313																						

160	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費	目の決算額	312,333,785	160
	事務事業名称	緑道整備事業					
	事業コスト(千円)	20,588	【うち人件費 4,611      うち減価償却費 15,631      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 歩行者などが安全に緑を感じながら移動することができます。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	緑道延長		20,404	／	20,045	m	
				／			
				／			
実施内容	1 石ヶ瀬川緑道整備(県事業関連大府東浦線取付及び橋梁上部余剰地活用) 河川管理用道路を活用した緑道整備の測量設計を行いました。						
	2 石ヶ瀬川緑道整備(森岡橋～深田) 河川管理用道路を活用して緑道を整備しました。 森岡橋～深田 ・右岸 幅員 2.4m 延長 413m 照明 23基他  緑道延長(合計) R1:19,572m R2:19,991m R3:20,404m						
事業の評価	妥当性評価	河川管理用道路において、市民が水と緑に親しみながら安全に散策できる緑道を整備することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	緑道を整備することにより、安全に散策できる歩道ネットワークの形成を図ることができました。					
	効率性評価	河川用地を活用することにより、新たに用地を取得することなく、効率的に緑道を整備することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	48,037,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	48,037,000		

161	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費	目の決算額	312,333,785	161
	事務事業名称	市民緑化推進事業					
	事業コスト(千円)	8,627	【うち人件費 4,192      うち減価償却費 147      】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 多くの市民が緑の保全及び緑化を推進する参加することで、緑や花に親しみと充実感を得ています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位	
	民有地緑化制度を活用した植栽本数		415	/	2,000	本	
				/			
				/			
実施内容	市民との協働による緑と花のあふれるまちづくりを推進するため、大府市緑化基金を活用して、各種事業を実施しました。						
	1 提案型緑花推進事業 市民団体などが提案する緑花事業計画に基づく緑化事業 R1:4団体    R2:0団体(新型コロナウイルス感染症防止対策で中止)    R3:3団体						
	2 民有地緑化制度等を活用した植栽 (1) 民有地緑化制度(あいち森と緑づくり事業)を活用した植栽 R1:866本    R2:488本    R3:415本 (2) 民有地緑化のため入学や新築など10項目の記念に樹木を配布する事業 R1:260本    R2:411本    R3:285本						
	3 学校シンボルツリー・シンボルフラワー事業 市内全小中学校の児童生徒に、緑の大切さや学校への愛着心を育んでもらうための学校緑化を行いました。						
	4 市民の森づくり事業 市民の森実行委員会及び二ツ池セレクトナと連携して、二ツ池公園の緑の保全を行いました。						
	5 緑のまちづくり事業 公園緑地などに設置の花壇や緑地などを市民と協働で管理し、潤いと安らぎの空間を提供しました。						
	6 シビックガーデンコンテスト事業 緑と花にあふれるまちづくりを啓発するため、緑化コンクールを開催しました。 R1:28件    R2:24件    R3:25件						
事業の評価	妥当性評価	市民との協働による緑あふれるまちづくりを進めるため、市民団体等の緑化推進に関する取組を幅広く支援することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	市民団体等の取組に対し、効果的に支援することにより、緑化に関する意識を多くの市民や地域に浸透させることができました。					
	効率性評価	緑化基金を活用し、市民との協働により、効果の高い緑化推進事業を効率的に実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	4,257,117	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	4,203,376 (基金4,200,000)	53,741		

162	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費	目の決算額	312,333,785	162
	事務事業名称	緑花維持管理事業					
	事業コスト(千円)	191,736	【うち人件費 8,853      うち減価償却費 6,242      】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 市民						
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 緑地等の適切な維持管理を行い、身近に緑が感じられる空間として、安全で快適に過ごすことができることにより、緑化などに対する市民の満足度が向上しています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位	
	竹林の保全箇所数		0	/	0	箇所	
	アサギマダラの飛来数		11	/	11	頭	
				/			
実施内容	1 緑地等の維持管理 公園、緑地、緑道などを適切に維持管理し、良好な状態に保ちました。 (1) 公園、緑地、緑道の草刈り・清掃等を実施しました。 (2) 街路樹、公園、緑地等へサクラ、ツツジ等の補植をしました。						
	2 桃山地区桜保全事業 桃山地区の桜保全のため、平成29年度に実施した桜の診断結果を踏まえ、枯枝撤去や薬剤注入、防腐剤塗布など樹木の保全を行いました。						
	3 竹林の小径(こみち)整備 矢戸川緑道に隣接する竹林の小径の整備に向け、一部の用地買収を行いました。(0.25ha)						
	4 フジバカマ植栽 ニツ池公園に市民パートナーシップによりフジバカマの花壇を設置し、アサギマダラが飛来しました。						
	5 鞍流瀬川モデル地区(新橋～江端大橋)の維持管理 新橋から江端大橋までの鞍流瀬川沿いの区間において、河川を活かしたまちづくりのモデル地区を目指し、キッチンカーとヤギのイベントを開催しました。また、堤防法面の草刈り・清掃等の維持管理を行いました。      草刈り面積      27,000㎡						
	6 桜守養成講座 桜の維持管理について、市民団体と協働で進めていくことにあたり、維持管理のノウハウを学ぶための桜守養成講座を3回実施しました。						
事業の評価	妥当性評価	市民との協働により緑あふれるまちづくりを進めるため市民団体等の緑化に関する取組を幅広く支援することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	市民と協働で推進することにより市民の緑化意識の醸成や市民参加による緑のまちづくりの推進を図ることができました。					
	効率性評価	指定管理者と協力し、効率的に事業を推進しました。					
事業費	左の財源内訳						
	245,040,355	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		30,159,400	0	0	214,880,955		

163	款・項・目	8・4・6	目名称	土地区画整理事業費	目の決算額	678,013,713	163
	事務事業名称	土地区画整理事業					
	事業コスト(千円)	701,044	【うち人件費 22,064      うち減価償却費 837      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 現在施行中の土地区画整理組合						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 円滑で健全な組合運営がなされ、事業計画に定めるとおり事業が完了しています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位	
	北山地区・横根平子地区の土地区画整理事業の整備率		38.1	/	47.2	%	
	北山地区・横根平子地区の人口達成率		2.6	/	2.5	%	
実施内容	<p>土地区画整理事業の事業主体である組合に対し、事業計画に基づき円滑で健全に運営がされるよう指導及び補助金の交付を行いました。</p> <p>(1) 大府横根平子地区【施行期間：平成28～令和7年度、面積：9.0ha、事業進捗率：61.1%】 組合が実施する整地工事や、調整池、水路及び道路の築造工事などについて指導を行い、実施事業に対し補助金を交付しました。 土地区画整理事業補助金 540,000,000円</p> <p>(2) 大府北山地区【施行期間：平成30～令和8年度、面積：23.7ha、事業進捗率：15.0%】 組合が実施する土砂搬入工事、調整池や水路の築造工事、下水道の詳細設計などについて指導を行い、実施事業に対し補助金などを交付しました。 土地区画整理事業補助金 119,389,000円（130,611,000円はR4年度へ繰越し） （うち、1/3の39,793,000円は都市再生区画整理事業費補助金） 国庫補助金市負担分 18,503,500円（補助対象事業費74,014,000円のうち市1/4負担） （当初額 28,250,000円、内示率が65.5%に下がったことにより3月補正減額 9,746,000円）</p> <p>(3) 大府共和西地区【施行期間：平成10～令和2年度、面積：42.3ha】 令和2年12月25日の事業完了に伴う組合の解散認可以降、引き続き残余財産処分などについて指導を行い、清算事務の結了が令和3年10月12日に組合より組合員に対し報告されました。</p>						
事業の評価	妥当性評価	住環境の整備を推進する事業であり、組合の円滑で健全な運営を支援することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	優良宅地造成とともに、道路、緑地等を整備することにより、良好な住環境の実現に向けて着実に効果が上がりました。					
	効率性評価	市と組合が一体となって整備を進め、効率的にまちづくりを推進していくことができました。					
事業費	左の財源内訳						
	678,013,713	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		39,793,000	493,200,000	0	145,020,713		

164	款・項・目	8・4・7	目名称	建築開発費	目の決算額	733,096	164	
	事務事業名称	宅地開発指導事業						
	事業コスト(千円)	17,432	【うち人件費 16,100 うち減価償却費 573】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 事業者及び工事施行者等							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 一定の基準をもって適正に指導するとともに、応分の負担を要請することにより、公共施設等及び良好な住環境の整備が行われています。							
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位		
	事前協議申請件数		36	/	25	件		
	宅地開発行為等調整会議回数		1	/	2	回		
実施内容	建築、開発行政の事務 限定特定行政庁、事務処理市として建築確認や都市計画法等の審査を行うとともに、市民相談への速やかな対応・体制をつくりました。							
	1 申請等実績							
			R1	R2	R3			
	確認申請	四号建築物	3件	5件	7件			
		工作物	0件	0件	0件			
	都市計画法許可		84件	70件	93件			
	後退用地要綱届出		85件	61件	69件			
	宅地造成等規制法許可		30件	27件	31件			
	事前協議（条例手続）		16件	38件	36件			
	宅地開発行為等調整会議		2回	4回	1回			
	建設リサイクル法届出		164件	158件	167件			
	省エネ法届出		3件	4件	1件			
	地区計画区域内整備計画届出		113件	73件	61件			
	優良宅地認定		0件	0件	0件			
	長期優良住宅認定		138件	125件	162件			
	低炭素建築物認定		3件	3件	11件			
	研修会、協議会等出席		40回	6回	5回			
	2 監視等実績							
			R1	R2	R3			
	建築物等パトロール		6回	9回	6回			
	造成工事等パトロール		11回	1回	3回			
	建設リサイクルパトロール		2回	1回	0回			
	・建設リサイクルパトロールは新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、実施されませんでした。							
事業の評価	妥当性評価	建築や開発行為に対する指導、監督という観点から市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	宅地開発等を行う者に対して、一定の基準を持って指導することは、公共公益施設及び良好な住環境の整備促進に有効です。						
	効率性評価	関係各課への回覧を電子化し審査の効率化を図ることで審査期間の短縮に努めました。						
事業費	左の財源内訳							
	670,136	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		12,121	0	0	658,015			

165	款・項・目	8・4・7	目名称	建築開発費	目の決算額	733,096	165
	事務事業名称	公共施設管理営繕事業					
	事業コスト(千円)	5,720	【うち人件費 5,419      うち減価償却費 206      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 公の施設						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 予防保全事業を取り入れることにより事後保全事業を減らし、公共施設の長寿命化だけでなくライフサイクルコストの縮減を図ります。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	施設営繕データの更新		1	／	1	回	
				／			
				／			
実施内容	1 市有施設の保全情報の一元管理し、長寿命化の推進を図りました。 (1) 3月に各施設所管に短期修繕計画のヒアリングを実施しました。 施設所管課：14課 対象施設：68施設 ヒアリング内容：令和5年～令和7年度短期修繕計画 (2) 技術的な意見をまとめました。 具体的には、短期修繕計画のヒアリング及び現地調査に基づき修繕計画の優先順位付けを行いました。また、その結果を施設所管課にフィードバックしました。						
	2 研究会、研修会、協議会及びファシリティマネジメント関連研修会等は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、開催されませんでした。						
事業の評価	妥当性評価	市が所有する膨大な施設の保全を行うことは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	各課の個別計画及び中長期営繕計画により、計画的な管理の確認や建物に関する情報を把握できました。					
	効率性評価	各課の個別計画及び中長期営繕計画により、優先度を評価した上でメンテナンス費用の積み上げを行いました。					
事業費	左の財源内訳						
	62,960	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	62,960		

166	款・項・目	8・4・8	目名称	中心市街地整備費	目の決算額	18,682,160	166
	事務事業名称	中心市街地整備事業					
	事業コスト(千円)	24,422	【うち人件費 14,932      うち減価償却費 543      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民、駅利用者						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 利用者及び地域の人たちが訪れたいと実感しています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	駅周辺まちづくり検討会議等の開催回数		8	／	8	回	
				／			
				／			
実施内容	<p>1 駅周辺の活性化</p> <p>(1) 大府駅周辺まちづくり検討会議の開催 大府駅周辺まちづくり計画の策定をはじめとする大府駅周辺の活性化のための方策を検討するため、地元事業者、大学、企業の関係者等を委員とする「大府駅周辺まちづくり検討会議」を2回開催し、駅周辺の課題の抽出を行いました。</p> <p>(2) 共和駅周辺まちづくり検討会議の開催 共和駅周辺まちづくり計画の策定をはじめとする共和駅周辺の活性化のための方策を検討するため、地元事業者、企業の関係者等を委員とする「共和駅周辺まちづくり検討会議」を新たに立ち上げ、会議を2回開催し、駅周辺の課題の抽出を行いました。</p> <p>(3) 大府駅東駐車場施設等整備運営事業 大府駅東駐車場及び自転車駐車場について、民間活力を活用した高度利用を図るため、事業者の募集を行いました。しかしながら、事業者の決定まで至らなかったことから、改めて、事業内容について再検討を行いました。</p> <p>2 地域と連携した駅周辺の活性化</p> <p>(1) 共和駅周辺まちづくり委員会 ア 当委員会を4回開催し、地域と連携した駅周辺の取組について検討しました。 イ 地域や地元企業と連携して、共和夢通り（市道大府共和線）の清掃活動を行いました。 ウ 地域と連携して、東京2020オリンピック聖火リレーにおける応援活動を行いました。</p> <p>(2) 駅周辺イベントの開催支援 ア 大府夏まつり（※中止） イ 共長夏まつり（※中止） ウ 大府駅前マルシェ（大府駅西金曜マルシェとして開催） エ おおぶ駅前星空横丁（※中止） オ 駅前イルミネーション カ 共和金ちゃん朝市</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により開催中止。</p>						
事業の評価	妥当性評価	駅周辺のにぎわい創出は、持続可能なまちづくりを進めるため、官民連携による継続的な活動を必要とする事業です。					
	有効性評価	大府駅周辺及び共和駅周辺まちづくり検討会議を開催し、まちづくりに関する意見交換を行うことで、駅周辺のにぎわい創出に向けた機運を高めることができました。					
	効率性評価	地元事業者、大学、企業の関係者等で構成された委員会において、実効性につながるような多様な意見を効率的に集めることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	18,680,610	国県支支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	18,680,610		

167	款・項・目	8・5・1	目名称	住宅管理費	目の決算額	115,940,044	167
	事務事業名称	市営住宅管理・整備事業					
	事業コスト(千円)	134,192	【うち人件費 15,069      うち減価償却費 80,932      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市営住宅 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 高齢者・障がい者等に配慮した、利用しやすく良好な魅力ある市営住宅の改善を行い、適切に管理されています。						
評価指標	指標名		令和3年度実績値	／	令和3年度計画値	単位	
	入居募集戸数		13	／	10	戸	
	建築物保全に関する住宅工事・修繕件数		65	／	80	件	
実施内容	市営住宅管理戸数292戸（うち特定公共賃貸住宅10戸）						
	1 施設改修工事・委託						
	(1) 殿ノ前住宅2号棟ベランダ手摺・外壁改修工事						
	(2) 殿ノ前住宅2号棟ベランダ手摺・外壁改修工事設計委託						
	(3) 北尾新田住宅水道メーター更新工事						
(4) 富士見住宅水道メーター更新工事（集中検針盤更新含む）							
2 施設維持管理委託							
消防設備点検、浄化槽保守点検、エレベーター保守点検、污水管清掃、遊具点検、樹木せん定・除草、給水設備保守点検等							
3 施設整備修繕							
給水装置等修繕、施設・設備老朽化による修繕(65件)、退去修繕(8戸)、退去修繕に合わせて住戸内バリアフリー化(3戸)							
4 市営住宅空家募集							
		H29	H30	R1	R2	R3	
募集回数		2回	2回	2回	2回	2回	
募集戸数		11戸(15戸)	16戸(20戸)	11戸(14戸)	9戸(11戸)	11戸(13戸)	
応募者数		38人(61人)	36人(60人)	19人(27人)	23人(36人)	14人(21人)	
※カッコ内は福祉枠を含む							
5 その他							
家賃口座振替（継続）H29：175戸 H30：164戸 R1：180戸 R2：179戸 R3：199戸							
住宅相談対応（公営住宅入居希望等相談、入居者の要望・苦情等）							
事業の評価	妥当性評価	公営住宅法の定めにより、市営住宅の整備及び管理については、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	修繕を始めとした入居者からの要望等に対して迅速な対応を心掛け、適正な管理に努めたことにより、良好な住環境の形成に寄与することができました。					
	効率性評価	各住宅の入居者や自治会の協力により管理業務委託、修繕及び工事を効率的に実施することができました					
事業費	左の財源内訳						
	73,995,983	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		14,877,000	0	35,107,683	24,011,300		

168	款・項・目	8・5・2	目名称	住生活費	目の決算額	16,076,260	168	
	事務事業名称	災害に強い住宅建設推進事業						
	事業コスト(千円)	21,858	【うち人件費 5,544 うち減価償却費 206】					
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 特に地震に不安のある民間住宅							
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 地震に強い住宅への改善が行われ、災害に強い安全な住宅地が形成されています。							
評価指標	指標名		令和3年度実績値	/	令和3年度計画値	単位		
	耐震診断実施件数		13	/	50	件		
	耐震改修工事実施件数		9	/	20	件		
				/				
実施内容	「大府市建築物耐震改修促進計画」に基づき建築物の耐震化を促進しました。							
	1 民間木造住宅無料耐震診断 13件 対象：昭和56年5月31日以前着工の民間木造住宅 民間木造住宅耐震改修費補助 9件 対象：耐震診断判定値が1.0未満の民間木造住宅							
	民間木造住宅診断及び改修実績(1.5、1.0、0.7は耐震診断の判定値)							
	年度	診断 件数	安全 1.5以上	一応安全 1.0以上 1.5未満	やや危険 0.7以上 1.0未満	倒壊の 危険あり 0.7未満	改修費 補助 件数	うち上乗せ 補助件数 高齢者 市内業者
	~H30	1,468	9	98	272	1,089	320	85 42
	R1	16	0	0	0	16	7	3 5
	R2	16	0	0	0	16	4	3 4
	R3	13	1	0	0	12	9	5 8
	合計	1,513	10	98	272	1,133	340	96 59
	割合	—	0.7%	6.5%	18.0%	74.9%	—	—
	・研修会参加等による体制づくり 研修会等：0回 (新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、実施されませんでした)							
	・耐震シェルター整備費補助：0件							
2 民間非木造住宅耐震診断・耐震改修費補助 耐震診断費補助：1件 耐震改修費補助：0件								
3 広報やローラー作戦による耐震診断、改修案内の実施								
		R1	R2	R3				
広報掲載回数		1回	1回	1回				
ローラー作戦		共和西自治区地内等	共和東自治区地内等	吉田自治区地内等 (147戸)				
無料相談会		1回(4組)	1回(3組)	1回(3組)				
4 三世帯住宅支援事業費補助：1件(認定申請6件)								
5 ブロック塀等除却費等補助：12件								
事業の評価	妥当性評価	建築物の耐震改修の促進に関する法律により、各公共団体が計画的に耐震化を進める必要があると定められており、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	木造住宅の無料耐震診断や耐震改修費補助を実施することにより、既存住宅を安心して安全に有効利用できるようになりました。						
	効率性評価	コロナ禍を踏まえたローラー作戦等を効率的に実施することができました。地元建築士の協力を要請することにより、無料相談会を開催できました。						
事業費	左の財源内訳							
	16,076,260	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		8,573,475	0	0	7,502,785			